

# 結構なお点前でてまえ



5月31日に川越城本丸御殿で行われた茶道体験。茶道の作法や道具について説明があった後、実際に参加者が抹茶を点てました。

今回の茶道体験を通して友達になった生井虹香ちゃん(仙波町)と大波多彩水ちゃん(大塚新町)は、「点てる動作が楽しかった」、「初めて点てた抹茶は、少しにがかったけどおいしかった。またやってみたい」と声をそろえて笑顔。

お茶を飲み終え、慣れない正座から立ち上がろうとする子どもたちからは「足がしびれていた〜い」と、笑い声があちこちから聞こえてきました。



# 小さいころから歯を大切に

総合保健センターで、6月1日に「歯ッピーフェスティバル」が開催されました。この催しでは、子どもや大人の歯磨き指導、フッ素洗口など、歯の健康を守るためのさまざまなコーナーが開設されました。今回で3回目の参加となる吉村裕美さん(下広谷)は、「普段なかなか子どもを歯の健診に連れていく機会がないので、とても助かってます。今回は自分も健診を受け、歯磨き指導や歯間ブラシの使い方を教えてもらいました。さっそく、今日から実践したいと思います」。



2年連続参加となる渡邊春香さん(新宿町5丁目)は、「昨年参加できなかった指の型どりコーナーに参加したくて来ました。3歳の子どもの良い記念になりました」と笑顔を見せてくれました。



## ふおとこよーろ



# はっけよ〜い、残った！

6月15日、川越八幡宮でこども相撲大会が行われ、小学4年生までの子どもが約280人参加。トーナメント方式で対戦しました。小学1、2年女子の部で優勝した平野夕華ちゃん(小学2年生、新富町1丁目)は、「初めて参加したけど、お父さんとお母さんに練習してもらったから、負けたくなかった。優勝できてうれしい」と満面の



笑み。見学者からは、「子どもたちが頑張っている姿を間近で見られてうれしい。自分の子どもの頃を思い出し、応援にも熱が入りました」。

# 世界で1つの扇子入れ

6月17日、つばさ館で扇子入れを作る講座が行われました。ミシンや型紙を使って作業を行い、約1時間30分で不用だった布が見事な扇子入れに生まれ変わりました。今回初めて参加した小谷津政子さん(川鶴3丁目)は、「よく扇子を使うので以前から入れ物がほしかった。自分で作ったものは愛着もわくし、大事にします」と話してくれました。他の参加者からは、「講師の方が分かりやすく教えてくれたので、思ったよりも難しくなかった。家族や友人にも作ってあげたいと思います」。



の愛着もわくし、大事にします」と話してくれました。他の参加者からは、「講師の方が分かりやすく教えてくれたので、思ったよりも難しくなかった。家族や友人にも作ってあげたいと思います」。